

2022年度 事業計画

【公益目的事業】

石油，天然ガス，石油化学工業及びこれらに係わる資源，エネルギー，環境に関する分野の学術並びに技術の調査・研究を推進し，これらの成果を会誌，講演会，ホームページ等で公開し，石油及び周辺エネルギーに関する知見を広める。さらに研究発表会・討論会，資格付与，研究助成及び表彰事業により，研究者・技術者を奨励して研究・技術の向上を図り，本分野における学術・科学技術の一層の発展とエネルギーの安定供給を目指す事業を行う。

1. 調査・研究事業の推進

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給及び地球環境の保全を図るため，学会本部内の7つの部会（資源，精製，石油化学，製品，装置，経営情報，新エネルギー）をはじめ，支部，JPIJS（若手会），委員会にて調査・研究を行う。

1-1 調査・研究

1-1-1 部会活動

(1) 製品部会

- 1) 燃料油分科会で，第43回CFRオクタン価照合試験を実施する。
- 2) アスファルト分科会で，アスファルトの成分分析方法について検討を行う。
- 3) 絶縁油分科会で，以下の活動を行う。
 - a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報を共有し周知する。
 - b) 生分解性絶縁油の油入機器への適用範囲拡大に向けた検討を行う。
 - c) 電気絶縁油のJIS改正に向けた検討を行う。
 - d) 絶縁油に関する調査・研究を行う。
- 4) 試験分析分科会で，石油製品中のNa，K分の分析方法について調査・検討を行う。

(2) 装置部会

分科会，専門委員会において担当の分野に関連した調査・研究を行う。

(3) 経営情報部会

ワーキンググループ (1) 「石油・エネルギー産業史」及び (2) 「石油産業の経営課題に資する情報技術」にて，調査・研究を行う。

(4) 新エネルギー部会

次世代のバイオ燃料やCO₂の有効利用技術について，調査・研究を行う。

1-1-2 受託，参加事業

(一財)JCCP国際石油・ガス協力機関が実施する①産油・産ガス国事業環境整備事業のうち連携促進事業（テーマ別合同シンポジウム事業），及び②産油・産ガス国高度人材育成支援事業のうち産油・産ガス国研究者交流事業に参加する。

1-2 成果公開・普及

前述の部会，委員会活動や受託，参加事業で得られた調査・研究の成果，並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開・普及させることにより，国民全体が石油及び周辺エネルギーの現状に対する理解を深め，その活用について関心を持つことを目指す。また，これらの分野の研究者・技術者に対しては，最新情報の共有とともに，人的交流を促すことで技術分野のすそ野の拡大を図る。本会による最新の調査・研究成果の公開・普及は，学術の一層の振興に加え，本分野に携わる技術者の育成にもつながり，製油所や化学設備の安全・安定操業，ひいてはエネルギーと石油関連製品の安定供給に寄与するもので

ある。

1-2-1 会誌（一般誌）

本会の様々な調査・研究活動の内容並びに石油及び周辺エネルギーに関する最新事情を紹介する「ペトロテック」（一般誌）を、月刊で12回発行する。

1-2-2 広報

本会HPを通して、本会活動の紹介や石油及び周辺エネルギーに関する様々な情報発信を行う。

- (1) 大会注目発表や学会活動を適宜新聞各社に紹介する。
- (2) 秋季大会（長野大会）に併せて市民講座を開催する。

1-2-3 講演会等（移動大学，支部講演会，JPIJS講演会，部会講演会）

(1) 石油啓発教育

- 1) 教育委員会において、移動大学「石油関連セミナー」を前年度に引き続き実施し、大学を中心に年間60回程度の講義を開催する。また、4大学においてリレー講座を開催する。
- 2) 石油初学者や若手の研究者・技術者向け講習会を開催する。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 夏季研究発表会を2022年7月に日本化学会北海道支部と共催する。
- 2) 第22回北海道支部講演会を企画し、実施する。
- 3) 触媒学会札幌講演会（札幌）を2022年12月に共催する。
- 4) 化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会（札幌）を2023年1月に共催する。

[東北支部]

- 1) 第37回東北支部講演会（盛岡）を企画し、2022年秋に実施する。
- 2) 触媒学会東北地区講演会を共催する。

[東海支部]

- 1) 第11回東海支部講演会を企画し、2022年9月に実施する。
- 2) 東海地区の製油所・事業所にて学生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。また2022年9月に報告会を企画し、実施する。
- 3) 学生企業見学会を企画し、2022年秋に実施する。
- 4) 2022年10月27日(木)、28日(金)に開催する長野大会（第52回石油・石油化学討論会）に向けて実行委員会を組織し、準備・運営に協力する。

[関西支部]

- 1) 研究機関・企業見学会を企画し、2022年6月に実施する。
- 2) 第29回学生企業見学会を企画し、実施する。
- 3) 第29回関西支部セミナー（大阪）を2022年10月に日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 4) 第30回関西支部研究発表会を2022年12月に日本エネルギー学会関西支部と共催する。併せて関西支部創立30周年記念行事を開催する。
- 5) JPIJS関西地区セミナー（大阪）をJPIJS関西地区と共催する。
- 6) 関西地区の製油所・事業所にて学生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。

[中国・四国支部]

- 1) 第40回中国・四国支部講演会（徳島）を企画し、2022年11月に実施する。
- 2) 第25回中国・四国支部技術交流会（倉敷）を企画し、2023年1月に実施する。
- 3) 中国・四国地区の製油所・事業所にて学生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。

[九州・沖縄支部]

- 1) 第47回九州・沖縄支部講演会（福岡）を企画し、2022年7月に実施する。
- 2) 第48回九州・沖縄支部講演会（北九州）を企画し、2022年12月に実施する。

(3) JPIJS講演会

- 1) 第26回 JPIJS 若手研究者のためのポスターセッションを2022年5月30日(月)に開催する。
- 2) 第52回石油・石油化学討論会において依頼講演及び国際セッションを企画し、協力する。
- 3) JPIJS 討論会を精製部会プロセス分科会の協力のうへ2022年7月に開催する。
- 4) 2022年10月に講演会を開催する。
- 5) 次世代天然ガス利用を考える若手勉強会を開催する。
- 6) 第60回オーロラセミナーを2022年7月～8月に触媒学会と共催する。
- 7) コロキウム2022を2022年8月下旬に日本エネルギー学会関西支部・石油学会関西支部と共催する。
- 8) 第31回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会を2022年7月下旬に化学工学会九州支部と共催する。
- 9) ペトロテックの「JPIJSだより」及びHPにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 第52回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 資源講演会を企画し、実施する。

[精製部会]

- 1) JPI Petroleum Refining Conferenceを企画し、2022年10月に実施する。
- 2) 第47回精製パネル討論会を企画し、2023年2月に実施する。
- 3) JPIJS討論会に協力する。

[石油化学部会]

- 1) 第52回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 第5回石油化学部会シンポジウムを企画し、2022年12月に実施する。

[製品部会]

- 1) 2022石油製品討論会を企画し、2022年12月に実施する。
- 2) 絶縁油分科会では、第42回絶縁油分科会研究発表会を企画し、2022年6月10日(金)に実施する。
- 3) 絶縁油分科会では、第6回絶縁油分科会後継者育成講習会を企画し、実施する。

[装置部会]

- 1) 第52回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 回転機分科会では、第21回回転機研究討論会を企画し、2022年10月に実施する。
- 3) 配管分科会では、第18回配管技術セミナーを企画し、2022年11月に実施する。
- 4) 保安分科会では、2022年度保安セミナーを企画し、2022年6月に実施する。
- 5) 設備保全分科会では、第52回装置研究討論会を企画し、2022年12月に実施する。
- 6) 計装分科会では、第37回計装研究討論会を企画し、2023年3月に実施する。
- 7) 電気分科会では、第21回電気研究討論会を企画し、2023年3月に実施する。
- 8) 設備維持規格委員会の屋外貯蔵タンク維持規格分科会では、第3回屋外貯蔵タンクセミナーを企画し、2022年10月に実施する。

[経営情報部会]

講演会の開催なし。

[新エネルギー部会]

- 1) 新エネルギー部会講演会を企画し、実施する。
- 2) 第52回石油・石油化学討論会に協力する。

1-2-4 規格の制定・普及

[製品部会]

アンケート調査等による技術情報の収集、関係規格制定・改訂の検討を行う。

[装置部会]

(1) 装置委員会

- 1) 機器分科会では、機器WGによる機器分科会関係規格の見直し及び技術資料の作成を、前年度に引き続き実施する。
- 2) 配管分科会では、フランジ専門委員会、バルブ専門委員会、ガスケット専門委員会、管及び管継手専門委員会、配管基準専門委員会による関係規格見直し等の活動を、前年度に引き続き実施する。
- 3) 計装分科会では、計装技術専門委員会の活動として計装分科会関係規格の見直し、アンケート調査等による技術情報の収集、設備維持規格改訂作業への支援を行う。
- 4) 電気分科会では、電気専門委員会の活動として、安全・技術情報の収集、設備維持規格改訂作業への支援を行う。

(2) 設備維持規格委員会

石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るために制定した設備維持規格について、追補の発行と定期的な改訂作業を実施する。また、設備維持規格の一層の周知徹底、理解を深めるため、該当する規格内容全般に関する講習会等を施す。

- 1) 設備維持規格一般講習会（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を2023年1月に東京で実施する。配管・設備については、京都でも実施する。
- 2) 設備維持管理士更新講習会（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を2023年1～2月に東京で実施する。配管・設備については、京都でも実施する。

1-2-5 設備維持管理士の資格付与

設備維持管理士認証委員会において、設備維持規格の内容の理解度を測定する評価試験を行い、合格者に設備維持管理士の資格を付与する。また、設備維持管理士制度の認知を広げ、制度の更なる普及を目的に、設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行う。

- (1) 設備維持管理士認証のための評価試験（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を2023年2月5(日)に東京と大阪で実施する。
- (2) 第52回石油・石油化学討論会において、設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行う。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者、技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催する。

- (1) 第70回研究発表会を2022年5月31日(火)にタワーホール船堀で開催する。
- (2) 第52回石油・石油化学討論会を2022年10月27日(木)、28日(金)に長野で開催する。
- (3) 韓国工業化学会（KSIEC）と協力し、KSIECの秋季大会に招待講演を企画し、参加する。
- (4) Journal of the Japan Petroleum Institute（論文誌）を隔月刊で6回発行する。Vol. 65 No. 5（9月号）では函館大会特集号を刊行する。

2-2 研究助成

石油及びその周辺エネルギー分野における研究開発の一層の推進を図るため、本分野に携わる若手研究者の研究奨励として、研究助成金交付事業を実施する。

前年度に続き若手研究者への助成公募を行い、委員会において適格者を選考し、研究助成金を交付する。

2-3 表彰

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、本分野で顕著な業績をあげた者または組織を石油学会表彰規程により表彰する。

【収益事業等】

1. 受託事業

「最新ガソリン乗用車の制御技術並びに燃料影響調査」及び「ディーゼル車の燃料供給システム調査」を石油連盟から受託し、本会製品部会内に設置した委員会においてそれぞれ調査を行い、報告書を作成する。本報告書の内容に関しては、委託元との契約により公表はされていない。

2. 図書及び標準試料認証・販売事業

2-1 図書販売

石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に、専門書、辞典、入門書を適宜、企画し刊行する。また、販売している以下の図書について、出版社より販売部数に応じて販売手数料または印税収入を得る。

「新版 石油精製プロセス」(2014) , 「新版 石油化学プロセス」(2018) ,
「石油がわかれば世界が読める」(2008)

2-2 標準試料認証・販売

標準試料委員会において石油関連試験の精度維持向上に必要な標準物質を作成し、認証する。

- (1) 前年度に引き続き、硫黄分、窒素分、ニッケル・バナジウム分、FIA(蛍光指示薬吸着法)用、軽油硫黄分、標準ガソリン、希釈用ガソリン、引火点、及び分離確認用の認証事業を行い、標準物質を委託販売する。
- (2) 分析技術の進展や需要を見ながら、新規認証及び認証中止の検討を行う。
- (3) 分析機器メーカーをはじめとする関連企業及び関連団体との情報交換を行う。

3. 溶接士の認証事業

溶接士検定委員会において規格JPI-7S-31 [技量検定基準] の見直し、及び全国規模での溶接関連情報交換を実施する。また、溶接功労賞の表彰を行う。石油学会溶接士認証証の発行業務は引き続き、(一社)日本溶接協会に委託する。

4. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では、エンジン汚れ評価に関するJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
- (2) 部会及び支部にて適宜、会員限定の勉強会、講演会を開催する。
- (3) 年会、秋季大会及び講演会の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催する。
- (4) 年会、秋季大会において会員企業のPR展示を企画し、実施する。
- (5) 維持会員交流会を開催する。

【法人管理】

- (1) 2022年度も前年度と同様、企業の新入社員を対象とした勧誘活動を行う。また、普通会員入会者を対象としたキャンペーン(初年度会費半額)など、会員の増強活動を積極的に推進する。
- (2) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を適宜開催する。通常総会(1回)、理事会(5回)、運営会議(5回)、顧問会(1回)、役員等候補者選定委員会(適宜)、財務委員会(適宜)、職員人事委員会(適宜)、受託事業委員会(適宜)、事業活性化委員会(適宜)ほか。
- (3) 他学協会その他関連団体からの事業の共催・協賛などの要請に適宜協力する。

【講演会, 討論会, 研究発表会並びに見学会等の事業計画】

月	日	曜	名 称	開 催 地
2022年				
5	30	月	第63回通常総会, 第64回年会ー特別講演, 受賞講演, 第26回JPIJSポスターセッション	東京 タワーホール船堀 または オンライン
	31	火	依頼講演, 受賞講演, 第70回研究発表会	
6	10	金	第42回絶縁油分科会研究発表会	京都 京都リサーチパーク
6	—	—	2022年度保安セミナー	東京
10	—	—	第21回 回転機研究討論会	東京
10	—	—	JPI Petroleum Refining Conference	オンライン
10	—	—	第3回屋外貯蔵タンクセミナー	東京
10	27 28	木 金	長野大会ー 特別講演, 招待講演, 懇親会, 第52回石油・石油化学討論会	長野 JA長野県ビル
			第31回日本ーサウジアラビア合同シンポジウム(研究・技術)	
—	—	—	第6回絶縁油分科会後継者育成講習会	四国
11	—	—	第18回配管技術セミナー	東京
12	—	—	2022 石油製品討論会	東京
12	—	—	第52回装置研究討論会	東京
12	—	—	第5回石油化学部会シンポジウム	東京
2023年				
1	12	木	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (電気設備)	東京
1	13	金	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (計装設備)	東京
1	16	月	設備維持規格講習会, 一般講習会 (配管・設備)	京都
1	19	木	設備維持規格講習会, 一般講習会 (配管・設備)	東京
1	20	金	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (回転機)	東京
2	5	日	2022年度設備維持管理士認証のための評価試験 (配管・設備, 回転機, 電気設備, 計装設備)	東京, 大阪
2	—	—	第47回精製パネル討論会	東京
2	17	金	設備維持管理士更新講習会 (配管・設備)	東京
2	20	月	設備維持管理士更新講習会 (配管・設備)	京都
3	—	—	第37回計装研究討論会	東京
3	—	—	第21回電気研究討論会	東京
—	—	—	新エネルギー一部会講演会	東京
—	—	—	資源講演会	東京

以 上